

防災講演会

ともに ～震災に負けない地域ネットワーク～

東日本大震災、熊本地震では震災による死者・負傷者の多数発生だけでなく、被災後の震災関連死の増加が課題となっていました。

東海地区を襲うであろう南海トラフ地震を考えると多大なる被害を受けることから、震災関連死も多数発生することが予測されます。

この危機状況に対応するために、愛知医科大学では、長久手市及び長久手市内の有識者の方々にご協力をいただき、「災害時を想定した地域ネットワーク検討委員会」を新たに立ち上げました。

東日本大震災、熊本地震の被災地をそれぞれ訪問し、長久手市在住の方々を対象としたアンケート形式の実態調査を行い、その結果から震災に負けない地域ネットワークのあり方を考えました。

南海トラフ地震を始めとする大規模災害への「防災・減災」のためには、行政・保健・医療、地域住民が“ともに”活動することが必要です。

“ともに”活動することは“ともに”考えることですので、皆さんと考える機会があればと講演会を開催することとなりましたので、皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

平成31年 3月9日（土）

15時30分～17時40分

愛知医科大学たちばなホール（大学本館2階）

参加費
無料

[対象者] どなたでも参加できます
(小学生以下は保護者同伴)

[定員] 400名（事前申込不要）

当日は、直接会場までお越しください。
名鉄バスをご利用の場合は、「本館前」で降車ください。
自家用車でお越しの場合は、外来駐車場をご利用の上、駐車券を受付までお持ちください。

[プログラム]

[会場案内]

裏面を参照ください

[問合せ先] 事務局：愛知医科大学災害医療研究センター

電話：0561-62-3311（代表）

主催：災害時を想定した地域ネットワーク検討委員会、愛知医科大学

開会挨拶
15:30

来賓挨拶

講演
15:35-16:05

パネルディス
カッション
16:15-17:35

閉会挨拶
17:38

佐藤 啓二 愛知医科大学 学長

小平 鉄雄 東海北陸厚生局 健康福祉部長

眞瀬 智彦 岩手医科大学
災害時地域医療支援教育センター 教授

「東日本大震災からみた
地域コミュニティのあり方(仮)」

休 憩

“ともに”
「震災に負けない地域ネットワークのあり方」

座 長

加納 秀記 愛知医科大学 災害医療研究センター長

パネリスト (予定)

栗崎 穂積 長久手市くらし文化部安心安全課 主幹

新宅 巧 市が洞地区自治会連合会 会長

細萱 健一 長湫地区北部自治会連合会 会長

眞瀬 智彦 岩手医科大学 教授

及川 増徳 岩手県遠野市 元副市長

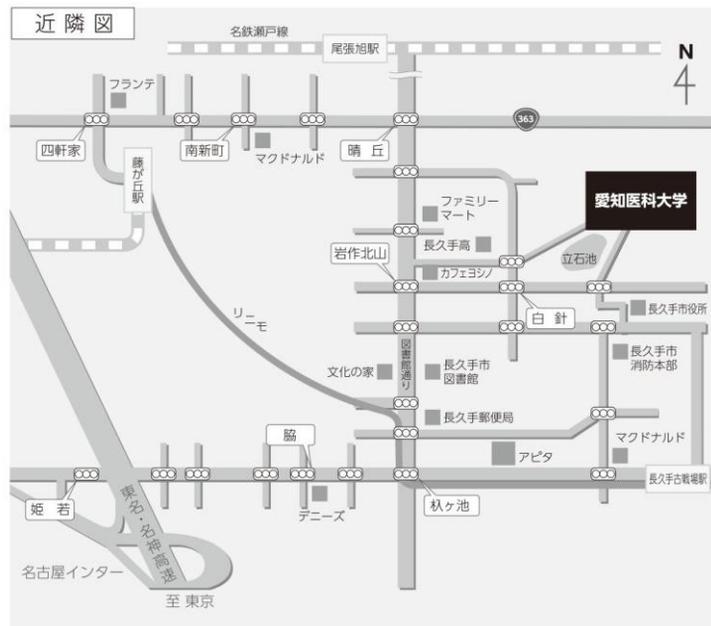
山田 孝 熊本県西原村 震災復興推進課 係長

市川 学 芝浦工業大学 システム理工学部 准教授

小澤 和弘 愛知医科大学 災害医療研究センター 講師

吉田 一平 長久手市 市長

会場案内 (愛知医科大学 たちばなホール) 所在地: 愛知県長久手市岩作雁又1番地1



※お車で越しの方は、立体駐車場をご利用下さい。